

ハートマークだより



マークの由来

医療関連サービスには、高い技術の裏付けとともにそれを提供する人々の真心や愛情が必要です。この医療関連サービスマークは、2つのハートによってより良きサービスを築き上げていくために医療機関と医療関連サービス事業者がお互いの心を通い合わせていることを意味し、3つの丸印によって国民がそのサービスに支えられていることを表現しています。

2019.11
NO.15

◆ 2019.10 認定審査における主な改善指導事項について

1. 認定概況

今回は、申請件数(新規)326(14)件のうち、認定は325(13)件、審査継続1件でした。

認定の内訳は、完全適合201(4)件、改善指導事項付112(8)件、条件付12(1)件となりました。

完全適合とは、改善指導事項が付されなかった認定をいい、改善指導事項付(条件付きを含む。)とは、評価項目中に下位評価項目が付されたものである。

2. 主な改善指導事項

(1) 全業務共通

従事者研修体制

(研修体制未整備、

初任者・現任者カリキュラム未作成、

研修項目の欠落、

改善見直し検討の未実施・記録未作成)

初任者・現任者研修体制

(初任者・現任者研修の受講者欠落、

研修記録未作成、研修記録未保管、

修得状況評価の未実施)

健康管理体制

(健康管理未整備、

雇い入れ時健康診断・定期健康診断の

受診者欠落、産業医の未専任、

健康診断実施後の措置不適正)

自己評価実施体制

(自己評価未実施、評価記録の未作成、

評価改善検討未実施・検討結果の未作成)

(2) 業務別

①在宅酸素療法における酸素供給装置の保守

点検業務

液化酸素装置の機器の消毒体制

(記録未作成)

医療機関との連絡協議体制

(未実施、記録未作成)

作業報告書

(確認印漏れ)

酸素濃縮装置の標準作業書

(定期見直し未実施)

酸素ボンベの標準作業書

(定期見直し未実施)

液化酸素装置の標準作業書

(定期見直し未実施)

緊急・災害対応体制

(教育・訓練の未実施)

不具合時の作業記録

(事項の欠落)

②院外滅菌消毒業務

医療機関との連絡体制

(連絡・協議実施数不足)

運搬容器管理保管体制

(容器(密閉性・防水性))

標準作業書未整備

③寝具類洗濯業務

衛生管理体制

(細菌等検査実施記録)

機械設備

(病院専用)(一部保有無)

④患者等給食業務

食材納入関連

(選定基準未作成、検収項目不備)

調理等点検体制

(点検表未作成)

器具・容器管理体制

(実施記録未作成、数量未確認・記録未作成)

食器管理体制
(実施記録未作成)

⑤患者搬送業務
業務案内書
(一部項目漏れ)

⑥衛生検査所業務
外部委託
(外部委託先が一部未認定施設である。)
有資格者
(有資格者の割合不足)

⑦院内清掃業務
病院との連絡体制
(記録未作成)
ストレスチェック体制未整備
ストレスチェック体制
(実施報告未実施)
清掃用具管理体制
(常備用具不備)
日常清掃業務以外(再委託)業務対応体制
(契約書未作成)
苦情対応体制
(マニュアル未作成)
日常的健康管理体制
(記録未作成)
受託責任者作業計画指導監督体制
(評価改善指導記録未作成)
日常清掃定期点検評価等体制未整備
日常清掃定期点検評価等体制
(病院未報告)

定期清掃定期点検評価等体制
(評価記録未作成、病院未報告)
作業計画書未整備
清掃用具消毒等管理不適正
薬品使用管理体制
(消毒薬使用記録未作成、
希釈指示記録未作成、施錠管理不適正)

⑧医療用ガス供給設備の保守点検業務
資器材保守点検体制
(必要資器材一部不具備、圧力計の校正、
その他の資器材校正、校正記録未作成)
定期保守点検作業記録
(パイプライン一部一時停止時の
打合せ記録未作成)
緊急・苦情対応措置体制
(対応記録項目不備)

⑨院内滅菌消毒業務
日常的健康管理体制
(記録未作成)
消毒薬の保管、管理体制
(開封年月日未記載、有効期限不明記)
(生物学的)滅菌済の確認体制
(モニターパック設置数の不足)
滅菌済の表示方法
(滅菌機器未表示、
滅菌機器毎の実施手順未表示)
交叉感染防止体制
(ルート図面未作成)
受取・引渡し記録体制
(保管管理の不備)

医療関連サービスマークの認定について（令和元年10月1日認定分）

業務区分	申請件数	認定			審査継続	認定有効事業者等 の総数	[参考]
		完全適合	改善指導付等	計			
在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務	58 (1)	39 (0)	19 (1)	58 (1)	0 (0)	201 (200)	
院外滅菌消毒業務 (※)	8 (0)	0 (0)	8 (0)	8 (0)	0 (0)	51 (51)	
寝具類洗濯業務 (※)	19 (3)	15 (0)	4 (3)	19 (3)	0 (0)	254 (252)	
患者等給食業務	10 (1)	4 (0)	6 (1)	10 (1)	0 (0)	176 (177)	
衛生検査所業務 (※)	23 (1)	19 (0)	3 (0)	22 (0)	1 (1)	121 (121)	
患者搬送業務	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (2)	
院内清掃業務	161 (6)	88 (3)	73 (3)	161 (6)	0 (0)	1,445 (1,452)	
医療用ガス供給設備の保守点検業務	43 (1)	35 (0)	8 (1)	43 (1)	0 (0)	253 (253)	
医療機器の保守点検業務	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	5 (4)	
院内滅菌消毒業務	2 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	35 (35)	
計	326 (14)	201 (4)	124 (9)	325 (13)	1 (1)	2,543 (2,547)	

注1：左記表の数値は、事業者数(但し、(※)の業務は施設数)

注2：左記表の()内は新規再掲

注3：認定有効事業者等の総数 [参考] 欄の()内数字は令和元年6月1日付認定有効数

◆「Good Job! コーナー」「こんなに頑張ってます！」

株式会社 ミールマックス
栄養衛生管理室
室長 荒木 美香



弊社は、昭和61年9月 福岡市内において株式会社九州ミールとして創業、平成10年3月に株式会社ミールマックスに社名改称し今年で34年目を迎えました。創業以来、“より豊かな食文化の創造”を目指し、割烹やレストラン、ファーストフード店の経営をはじめ、社員食堂や社員寮の運営、また、平成11年には医療関連サービスマークを取得し、認定事業者として、病院や高齢者施設の給食受託を主な業務としながら現在に至っております。認定を受けたのち、7回の更新審査を経てマニュアルの作成や改善、管理体制の見直しを繰り返し、業務を遂行するにあたっての指針ができ事業所間の足並みが整ってきているのを実感します。また、各種監査でもこれらのマニュアルや管理体制が活かされ、顧客からの信頼に繋がっております。現在は、これらのマ

ニュアルを多岐にわたる業態に対応すべく展開することへ取り組んでいるところです。

委託給食業は食材費と人件費の管理差が収益の源泉となります。弊社も業態や顧客ごとにメニュー・客層・単価・ニーズ等が異なる中で、スケルメリットを生かした仕入管理体制を構築し、収益力に転化することが今後の課題です。プラスチックゴミや食品ロスと言った環境汚染問題の観点からもこれらの構築は急務と言えます。また、新規で人材を採用することが困難であることや今後の更なる深刻な人材不足を鑑み、在職中の従業員を定着させることが事業所運営の安定を生み、サービスの質の向上や顧客満足に繋がってくるものと捉え、丁寧かつ細やかな従業員教育に取り組みたいと考えています。多様化する顧客からのニーズに柔軟に対応できる人材を育成し定着させることで、顧客との良好かつ対等な関係性を保ち、医療関連サービスマークの使命であります、良質かつ適切なサービスを提供できるものと考えます。今後も、認定事業者として運営を依頼されるお客様から信頼を寄せていただけるよう努力して参ります。

◆ 医療現場からの声

公益財団法人 脳血管研究所
美原記念病院 設備用度課長 中村 俊太郎



当院は、脳・神経疾患の専門病院であり、診療科目は脳神経内科・脳神経外科・循環器科・リハビリテーション科などを有し、脳卒中ケアユニット、急性期病棟、回復期リハビリテーション病棟、障害者病棟を持つケア・ミックス型の病院です。脳・神経疾患の急性期からリハビリ・在宅まで一貫した医療の提供をミッションとしています。

委託業務のマネジメントの成否は、医業費用の増減とサービスレベルに直結します。委託先の選択を誤ると作業効率の低下やコスト増加、情報漏洩などのトラブルを誘引することにもなりかねません。医療費抑制が益々厳しくなる状況において、無駄なコストを抑え、サービスレベルを向上させる外部委託のあり方が、これまで以上に求められています。

そうした中で、厚生労働省が示した基準をク

リアした企業＝医療関連サービスマーク認定企業の皆さまは、高い安全性や信頼性、経済性が担保されています。当院でも委託契約先として積極的に採用しています。

病院と受託事業者は顔の見える関係を構築することが重要です。清掃業務では、院内感染対策勉強会の参加、定期的に実施する環境ラウンドの同席など、コミュニケーションを密にしています。他にも院内の感染対策スタッフの指示の的確な実施とともに、清掃スタッフ側からも専門的ノウハウを活かした提案をいただいています。

受託事業者の皆さまには引き続き、当院の特性に見合った効率的かつ質の高いサービスの提供を継続して実践されることを願っています。

おわりに、当院では病院運営を円滑に行うため、消防設備や建物に係わる法定点検、電子カルテシステムの保守、警備業務など、多種多様の委託契約を締結しております。医療関連サービス振興会様におかれましては、厚生労働省により基準が定められている8業務のみならず、これらの各分野にも医療関連サービスマーク制度が拡大されることを期待しております。

◆ トピックス

● 第29回シンポジウムを開催します／(一財)医療関連サービス振興会

1. テーマ

健康寿命から考える人生100年時代と医療関連サービスとの関わり

2. 開催主旨および目的

人生100年時代を迎える今、求められる社会保障の姿は、国民誰もが、より長く、元気に活躍できて、全ての世代が安心できる「全世代型社会保障」です。

特に、2040年頃には、いわゆる団塊ジュニア世代が高齢者となり、高齢者人口がピークを迎える一方、現役世代が急激に減少します。このような中で社会の活力を維持、向上しつつ、「全世代型社会保障」を実現していくには、高齢者をはじめとする意欲のある方々が社会で役割を持って活躍できるよう、多様な就労・社会参加ができる環境整備を進めるとともに、予防・健康づくりを強化し、健康寿命の延伸を図ることが求められます。

先に公表された「健康寿命延伸プラン」では、新しい手法も活用した取組を推進することになっています。本シンポジウムでは、健康寿命延伸に向けた取組を展望するとともに、健康寿命延伸による医療費・介護費等への影響や今後に向けた課題、また、医療関連サービスとの関わりについて考察します。

3. 開催日時

令和2年2月12日(水)13時～17時

4. 会場

サントリーホール(ブルーローズ)/東京都港区赤坂1-13-1

* 詳細は12月日程に当会HPに掲載します(<https://ikss.net/>)

◆ 今後のスケジュール等

〈令和元年12月〉

20日(金) 第261回月例セミナー

テーマ：「地域包括ケア、地域医療構想とこれから(仮題)」

講 師：宇都宮 啓 氏

(前 厚生労働省健康局長)

会 場：日比谷コンベンションホール
(千代田区立日比谷図書文化館内)

〈令和2年1月〉

医療関連サービスマーク認定の申請書類受付

(令和2年6月1日認定分)

6日(月)～17日(金)衛生検査所業務

17日(金)～31日(金)在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務、寝具類洗濯業務、患者等給食業務、医療用ガス供給設備の保守点検業務、院内清掃業務、院外滅菌消毒業務、院内滅菌消毒業務、患者搬送業務、医療機器保守点検業務

医療関連サービスマーク認定審査委員会開催日

(令和2年2月1日認定分)

10日(金)衛生検査所調査指導中央委員会
(審議事項：第76回認定基本審査)

16日(木)患者等給食部会
(審議事項：第81回認定審査)
医療用ガス供給設備の保守点検部会

(審議事項：第75回認定審査)

17日(金)医療機器保守点検部会

(審議事項：第35回認定審査)

在宅酸素供給装置の保守点検部会

(審議事項：第89回認定審査)

20日(月)衛生検査所専門部会

(審議事項：第76回認定審査)

院内清掃部会

(審議事項：第77回認定審査)

22日(水)寝具類洗濯部会

(審議事項：第87回認定審査)

滅菌消毒部会

(審議事項：

第80回認定審査(院外滅菌消毒)

第39回認定審査(院内滅菌消毒))

24日(金)評価制度認定委員会

(審議事項：医療関連サービスマーク認定に係る審査)

17日(金) 第262回月例セミナー

テーマ：「2020年診療報酬改定の方向性と経営対応」

講 師：中林 梓 氏(株式会社ASK梓診療報酬研究所 代表取締役)

会 場：日比谷コンベンションホール
(千代田区立日比谷図書文化館内)

ハートマークだより

発 行：一般財団法人医療関連サービス振興会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 第二フナトビル3F

TEL: 03-3238-1861 FAX: 03-3238-1865

URL: <https://ikss.net/>